

年度方針

豊かな市民生活

魅力的なまちとなるような

好循環を生み出したい

「明日の担い手を育む」

校区再編を検討

南海本線の高架化が完成したことに伴い、小学校区について、通学の安全や地域の状況等を考慮し、令和5年度は検討委員会にて議論を深めていきます。



「明日の担い手を育む」

学校給食の無償化

1学期・2学期の給食費無償化を実施します。3学期以降は、今後の国の動向等を踏まえ、改めて検討します。



「明日の担い手を育む」

多世代が集うスポーツ施設

高師浜総合運動施設にオリンピックの正式種目である3×3 バスケットボールコートを新たに整備し、さらなる利用促進を図っていきます。



「明日の担い手を育む」

産後ケア事業の利用促進

利用料の半額補助やニーズの高かった宿泊型の利用時間延長や通所型の対象年齢拡大など、サービスの更なる向上を図ります。



「みんなで支え合い、健やかに過ごせる」

健康のための環境整備

ふれあい健康増進センター(スポラたかいし)は、施設の大規模修繕などを行い、快適な環境の確保や利便性の向上に努めます。



「明日の担い手を育む」

教育環境の充実

校内にオンライン授業を受けることができる支援ルームを設置し、不登校の子どもたちが少しでも学校に登校できる重層的な支援体制の構築をめざします。



2回高石市議会定例会
施政方針を発表しました
計画の5つのまちづくり
の担い手を育む、「み
かに過ごせる」、「安全・
」、「人を惹きつける魅
「持続可能なよりよい
て、その一部をお知ら

こちらから▶



(275)6034

「人を惹きつける魅力と活力があふれる」

交流人口の増加・定住促進

旧市民会館・図書館跡地利用については、民間活力を導入した魅力的な集客施設の設置の実現に向け、取り組んでいきます。



「安全・安心で快適に暮らせる」

市民の生命・財産を守る

災害等の緊急時における情報伝達を迅速かつ確実にを行うため、防災行政無線の最適配置や、戸別受信機などの新たな手法についても検討します。



「持続可能なよりよい未来へつなぐ」

エネルギーの地産地消

泉北クリーンセンターで発電した余剰電力の小中学校への供給を開始し、効果検証等も行いながら、地域でのエネルギーの地産地消に向けた取組みを進めます。



「安全・安心で快適に暮らせる」

避難所の QOL 向上

ワンタッチテントや段ボールベッドに加え、男性と女性双方の視点を取り入れ、また妊産婦や子育て家庭のニーズなどを踏まえた備蓄も進めます。



「持続可能なよりよい未来へつなぐ」

デジタル技術の活用

府のデジタル人材シェアリング事業を活用して、本市業務の詳細な分析と見直し(BPR)を実施し、住民の利便性向上と業務の効率的かつ効果的な行政運営の両立を図っていきます。



「人を惹きつける魅力と活力があふれる」

歩きたくなるまちなかの実現

高石駅周辺については、駅周辺整備を官民共創で進め、多世代が交流・滞在し、活躍できる魅力あふれるまちづくりを引き続き進めていきます。



6月に開催された第5次高石市総合の目標である「明日みんなで支え合い、健やかに安心して暮らせる力と活力があふれる、未来へつなぐ」に沿ってまいります。

※施政方針の全文はこ

問合先 総合政策課 ☎